

シルバー やまなし

第42号
令和5年9月



世界農業遺産～山梨県峡東地域（山梨市・笛吹市・甲州市）～
〔写真提供：甲州市、東山梨地区広域シルバー人材センター〕

*** 目 次 ***

○表紙（目次）	1 ページ
○会長あいさつ	2 ページ
○山梨労働局職業安定部長あいさつ	3 ページ
○山梨県産業労働部長あいさつ	4 ページ
○令和5年度定時総会	5 ページ
○令和5年度事業計画（概要）	7 ページ
○令和5年度安全・適正就業	10 ページ
○高齢者活躍人材確保育成事業	12 ページ
○最近のシルバー人材センター事業実績	14 ページ
○令和4年度シルバー人材センター事業状況	15 ページ
○お知らせ・編集後記	16 ページ



「地域を支える高齢者が、
安全・安心に就業できる
シルバー人材センターを目指して」

山梨県シルバー人材センター連合会 会長 鈴木幹夫

関係各位には、日頃から、シルバー事業に対しまして深いご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、今年5月から「新型コロナウイルス感染症」が5類に移行され、徐々に日常を取り戻しつつありますが、まだまだ油断ができず、各センターにおいても安全対策を十分にして事業を実施しているところです。

今年の夏は、記録的な暑さが続き、シルバー人材センターへの草刈りや植木の剪定作業など屋外作業の依頼については、会員の健康管理を徹底する中で細心の注意を払って実施しており、引き続き会員の皆様の健康に配慮しながら仕事に取り組んでいただきたいと思います。

令和4年度の本県シルバー人材センター事業を前年度と比較すると、契約金額ベースでは、請負・委任については2.6ポイントのプラス、派遣については令和3年度に引き続き遺跡発掘調査業務の受注などにより11.7ポイントのプラスとなりました。

会員数については、新型コロナウイルス感染症の影響が続いているため退会する方もおり、2.0ポイントのマイナスとなりました。

こうした状況ではありますが、社会・経済が動き始める中、労働力人口の減少による人手不足など、地域の支えとしてシルバー人材センターへの期待が高まっています。

また、シルバー事業は、地域の日常生活に密着した就業を提供することにより、高齢者が孤独・孤立に陥ることなく、心の寄り所となる、安全・安心な就業環境の整備に努め、社会参加を促し、生きがいや健康の保持増進に加えて、健康寿命に寄与し、医療費や介護費用の削減などに貢献しています。

本年度は『第2次会員100万人達成計画』に基づく「会員の増加及び地域ニーズに対応した就業機会の拡大」、「シルバー派遣や業務拡大による多様な働き方の推進」、「安全で適正な業務運営」、「地域社会や国、県、自治体等の関係機関との連携」、「人手不足分野等を支える新規事業への対応」、「デジタル技術を活用した業務運営の効率化」などを重点項目として事業を推進してまいります。

こうした事業実施のため、今年度におきましても連合会と各拠点センターがさらに連携を密にして事業の推進に努めていく考えでありますので、引き続き皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



「生涯現役社会の実現に向けて」 シルバー人材センターとの連携

山梨労働局 職業安定部長 工藤 由範

山梨県シルバー人材センター連合会、各拠点のシルバー人材センター並びに会員の皆様におかれましては、日頃より労働行政の業務運営につきまして、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

私事になりますが、令和5年4月に山梨県に赴任いたしました。山梨県は妻の出身地であり、縁ある山梨に赴任できたことをうれしく思います。

世界的に経済や生活に大きな影響をもたらした新型コロナウイルス感染症の法上の位置づけが、5月から2類相当から5類へ移行となり、政府等が行う雇用・生活支援の特例措置も段階的に終了しているところです。

コロナ禍からの社会経済活動が進む中、現在の雇用情勢は、一部に厳しさがみられるものの、多くの産業で人手不足との声が寄せられ、観光関連産業では県内観光客の増加や夏から秋の行楽シーズンに向けて求人需要は引き続くものとみられるなど改善が進んでおります。

さて、少子高齢化と労働力人口の減少が進む我が国において、これからも経済社会の活力を維持するためには、豊富な経験や知識を有する高齢者が希望や特性に応じて年齢にかかわらず活躍できる社会を築いていくことが重要な課題となっています。

シルバー人材センター事業は、地域高齢者の多様な就業機会を確保し高齢者が生涯現役で社会参加していくための支援、さらには介護、育児等の現役世代を支える分野及びサービス業等の人手不足分野において、高齢者が活躍できる環境を整えるという点から、今後、益々重要な役割を担われるものと確信しております。

山梨労働局としましても、令和3年4月に改正されました高齢者雇用安定法に基づき、70歳までの就業機会の確保と就業環境の整備に取り組んでいるところです。

併せて、山梨労働局の委託事業「高齢者活躍人材確保育成事業」により、シルバー人材センターの新規加入会員及び利用企業の拡大・活用を推進し、また、ハローワーク甲府とハローワーク富士吉田に設置しております生涯現役支援窓口等においては、シルバー人材センターと連携のうえ高齢者の就職支援に努めているところです。

最後に、山梨県シルバー人材センター連合会様の更なるご発展と会員の皆様の今後のご健勝、ご活躍を心より祈念するとともに、山梨労働局及び各ハローワークとの一層の連携につきまして、よろしくお願い申し上げます。



『シルバー人材センター事業の推進について』

山梨県産業労働部長 染谷光一

公益社団法人山梨県シルバー人材センター連合会及び各拠点シルバー人材センターの皆様には、日頃から県政に御理解と御協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

県が実施する高齢者福祉基礎調査によりますと、令和5年4月1日現在、65歳以上の人口は25万3千人で、総人口の31.3%を占めており、全国平均の29.1%と比べて2.2ポイント上回っております。

高齢化が進む一方、本県の健康寿命は男女ともに全国トップクラスであり、これは元気に働き続けている高齢者が多いことも要因の一つと言われております。

人生100年時代を迎える中、年齢を重ねても、これまでの経験で培った能力や経験を生かしながら、誰もが生きがいをもって自分らしく活躍できる社会を実現することが重要であり、シルバー人材センターの果たす役割はますます大きいものと考えております。

近年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、業務受注件数の減少など、厳しい状況が続いてきたと伺っております。

こうした中においても、新規会員の募集や新たな就業先の開拓など、事業の活力維持に鋭意取り組まれ、令和4年度の契約額は約2,284千円と、過去5年間で最も大きい結果となったことは、ひとえに役職員の皆様や会員の皆様の御尽力の賜物と、深く敬意を表する次第です。

また一昨年来、県の埋蔵文化財センターの遺跡発掘作業に関し、多くの皆様の御協力をいただいております、心より感謝申し上げます。

昨年度頂いた業務拡大のご要望に関しまして、本年4月から「プラスチック製品製造」の就労時間の上限を週40時間まで延長したところであり、今後も皆様の様々な就労ニーズに応えるべく、多くの業種の指定に努めて参ります。

シルバー人材センターにおかれましては、今後も会員の確保に努めていただくとともに、長年培ってこられた知識や技能が発揮できる新規事業の開拓など、ニーズに応じた多様な就労機会の提供に積極的に取り組んでいただき、高齢者の生きがいや社会参加の促進、更には活力ある地域づくりに御尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、会員の皆様の御健勝と御活躍を御祈念申し上げ、挨拶といたします。

令和5年度 定時総会開催される

公益社団法人山梨県シルバー人材センター連合会の令和5年度定時総会が去る6月16日（金）に山梨県立青少年センター新本館において、議決権行使書を含め全会員の出席のもと、来賓に、山梨労働局職業安定部工藤部長、山梨県産業労働部理事兼労政人材育成課中澤課長にご出席をいただき開催されました。

鈴木幹夫会長のあいさつに続いて、鈴木議長の議事進行により、報告事項4件、議決事項2件が審議されました。提出された議案につきましては、全て原案のとおり承認されました。また、退任される理事3名の後任理事3名が選任されました。

- ① 報告第1号 令和4年度収支補正予算について
- ② 報告第2号 令和4年度事業報告について
- ③ 議案第1号 令和4年度収支決算について（監査報告）
- ④ 議案第2号 補欠役員の選任について
- ⑤ 報告第3号 令和5年度事業計画について
- ⑥ 報告第4号 令和5年度収支予算について



定時総会の様子

理事3名が新たに選任されました

山梨県シルバー人材センター連合会の内藤久夫理事が6月9日をもって、矢崎幹男氏、河野修氏2名の理事が総会をもって辞任するので、新たに後任として上村英司氏、米山崇氏、上矢敏彦氏3名の理事が定時総会において決議され、選任されました。定時総会終了後、開催された理事会において、常務理事に上矢敏彦氏が選定されました。

公益社団法人 山梨県シルバー人材センター連合会 役員名簿

役 職 名	氏 名	所 属
会 長	鈴木 幹 夫	東山梨地区広域シルバー人材センター
副 会 長	齋 城 和 久	甲府市シルバー人材センター
常 務 理 事	上 矢 敏 彦	山梨県シルバー人材センター連合会
理 事	小 林 信 保	東部広域シルバー人材センター
理 事	渡 邊 雅 彦	富士五湖広域シルバー人材センター
理 事	上 村 英 司	峡北広域シルバー人材センター
理 事	細 野 幸 男	峡南広域シルバー人材センター
理 事	保 坂 武	峡中広域シルバー人材センター
理 事	米 山 崇	南アルプス市シルバー人材センター
理 事	山 下 政 樹	笛吹市シルバー人材センター
理 事	田 中 敏 彦	学識経験者
監 事	野 崎 行 廣	学識経験者
監 事	小 泉 孝 博	学識経験者

各シルバー人材センター 理事長(会長)・事務局長名簿

シルバー人材センター名	理事長(会長)	事務局長	設立年月
(公社)甲府市シルバー人材センター	齋 城 和 久	芦 澤 徹	S56. 4
(公社)東部広域シルバー人材センター	小 林 信 保	井 上 重 隆	S63. 4
(公社)東山梨地区広域シルバー人材センター	鈴木 幹 夫	小 林 茂 夫	H 2. 4
(公社)富士五湖広域シルバー人材センター	堀 内 茂	渡 邊 雅 彦	H 2.10
(公社)峡北広域シルバー人材センター	上 村 英 司	高 橋 一 成	H 3. 1
(公社)峡南広域シルバー人材センター	望 月 利 樹	細 野 幸 男	H 3.11
(公社)峡中広域シルバー人材センター	保 坂 武	輿 石 春 樹	H 4. 2
(公社)南アルプス市シルバー人材センター	金 丸 一 元	米 山 崇	H 4. 3
(公社)笛吹市シルバー人材センター	山 下 政 樹	小 宮 山 和 人	H 4. 6
(公社)山梨県シルバー人材センター連合会	鈴木 幹 夫	上 矢 敏 彦	H10.10

令和5年度 事業計画（概要）

第1 シルバー事業を取り巻く状況

新型コロナウイルス感染症が2類から5類へ移行され、感染予防をする中で徐々に日常を取り戻しつつある。

シルバー事業は、コロナ禍の影響で、年々会員数が減少している状況から抜け出せずにいる。そのため、コロナ前の令和元年度の会員数に戻す事を目標として取り組むこととする。

第2 事業の展開

少子高齢化が急速に進む中で、高齢者が地域社会の課題解決の担い手となって活躍するシルバー事業は、地域から寄せられる期待とその役割は大きいものがあり、会員拡大、組織の活性化や事業の一層の充実等を図る必要がある。

このため、高齢者や企業の多様なニーズに応えるべく連合会と各拠点センターがより一層の連携を図り、次の8つの事項を重点として事業の展開を図ることとする。

1 中期計画策定委員会の設置

人生100年時代を迎え高齢者が年齢に関わりなく働き続けることのできる生涯現役社会を実現することが求められており、シルバー連合の目指す方向性を示す中期計画をこれまでの経過を十分に検証する中で策定を進める。

2 会員の増大及び就業機会の拡大

活力ある団体運営を行うには、会員の増大と就業機会の拡大が重要であり、全シ協が示した「第2次会員100万人達成計画」に基づき会員拡大を図る。特に女性会員の確保に努め目標達成を図る。

3 多様な働き方の推進

シルバー事業の基本的な働き方である従来の請負・委任業務に加え、高齢法第39条に基づく業務拡大も視野に入れたシルバー派遣事業の推進に努める。

4 安全・適正な業務運営

安全で適正な就業はシルバー事業において基本となるものであり、傷害・損害事故等の防止に努め、公益法人として法令順守の立場から適正就業ガイドラインに基づき、不適正な請負業務の是正等に努める。

5 地域社会や関係機関との連携

シルバー人材センターは、地域の高齢者に働く場を提供して地域社会に参加し貢献しようとするものであり、日常的に地方自治体との連携、ハローワーク等関係機関及び業界団体等との情報交換の強化などに努める。

6 新規事業への対応

国や県への補助事業や地方自治体との連携等、新規事業への積極的な取組により組織運営に必要な財源確保を図り、安定的な事業運営に努める。

7 デジタル技術の活用

デジタル技術を活用した業務の効率化、会員へのスマホを活用した業務連絡やWeb入会システムの導入の推進に努める。

8 SDGsの取り組み

人口減少、少子高齢化が進展している中で、だれもが、いくつになっても活躍できる社会の実現に向けて、地域の日常に密着した就業機会を提供することにより、高齢者の社会参加や、高齢者の生きがいの充実等に貢献している取り組みは、SDGs(持続可能な開発目標)の達成に大きく貢献している。このことを広く周知を行い、シルバー人材センターの役割を十分発揮することにより、持続可能な社会の実現に努める。

第3 事業計画

連合会は各センターと連携して、会員や発注者のニーズに応えるべく以下の各事業を行う。

1 研修事業

シルバー事業の組織運営や事業運営に当たっては役職員及び会員がシルバー事業の理念を十分理解し、専門的又は実践的知識を得ることが必要で、これらの事業運営を行うための研修会を開催、参加する。

- (1) 中央研修会(会長・局長研修、派遣元・職業紹介責任者講習、関東ブロック研修等)参加
- (2) 連合会が行う研修会(経理研修等)実施

2 安全・適正就業

- (1) 安全就業(安全・適正就業強化月間(7月)の設定、安全・適正就業推進委員会開催、安全パトロールの実施、安全就業研修会の開催等)
- (2) 適正就業(適正就業ガイドライン、受注リストの点検等)

3 シルバー派遣事業

- (1) シルバー派遣事業運営委員会の開催
- (2) 高齢法第39条に基づく業務拡大の推進、衛生委員会の設置等

4 職業紹介事業

- (1) 60歳以上で「臨・短・軽」の雇用を希望する方に職業を紹介する。

5 普及啓発事業

- (1) 普及啓発促進月間(10月)の設定
- (2) 広報・普及啓発活動の推進

6 指導事業

- (1) 公益社団法人として組織運営・財政運営の確立等の指導

7 情報の収集・提供等

- (1) シルバー事業に関する情報の調査・収集及び周知
- (2) センター間における調整等

8 就業機会の開拓・拡大

- (1) 県下事業所等への訪問による就業開拓・拡大
- (2) イベント会場等における就業機会の開拓

9 新規事業への検討

- (1) 人手不足分野や地域のニーズに対応した新規事業に対して地方自治体等と連携し積極的な参入に努める。

10 適格請求書等保存方式（インボイス制度）への対応

- (1) 今年度 10 月から、導入されるインボイス制度施行にむけ、料金の見直し等により、安定的な事業運営ができるよう適切に対応する。

11 契約方法の見直しへの対応

- (1) フリーランス新法施行に伴い、契約方法が見直しになるので、適切に対応する。

第4 高齢者活躍人材確保育成事業

労働力人口の減少等により、人手不足分野や現役世代を支える分野での担い手不足が問題となる中、シルバー人材センターの周知・広報等を積極的に行い会員増と当該分野での高齢者の就業を推進する。

- (1) 高齢者や企業に対する周知・広報の実施
- (2) シルバーに関心のある高齢者や企業に対する就業体験の実施
- (3) シルバーの就業を希望する高齢者等に対する技能講習の実施
- (4) 連絡会議の開催（国・県・シルバー連合・労使団体等）

第5 法人管理事業

1 正会員・賛助会員の拡大

2 諸会議の開催及び参加

- (1) 定時総会及び理事会等の開催
- (2) 全シ協定時総会・事務局長会議等、関東ブロック協議会理事会・事務局長会議等への参加

山梨県

要請行動の様子

山梨県議会



山梨労働局



堀内詔子衆議院議員



森屋宏参議院議員



令和5年度安全・適正就業 第1回安全・適正就業推進委員会が開催される

令和5年度第1回安全・適正就業推進委員会が去る7月4日(火)に「甲府市中道公民館」において開催されました。令和4年度の傷害事故及び賠償事故報告とその対策、令和5年度安全・適正就業強化月間の設定と強化月間中の各センターの事業の取り組み、適正就業のポイントなどを確認しました。令和4年度の事故状況を見ますと、傷害事故は令和元年度にかけて減少しましたが、令和2年度と令和3年度は増加しています。一方、損害事故につきましては、令和2年度に一旦減少しましたが令和3年度、令和4年度は増加して、特に、飛散物(刈払機からの飛び石)による事故が半数以上を占めています。

また、令和5・6年度の安全標語入選作品が決定されました。

【最優秀賞】

「気をつけよう! 慣れた作業に 潜む危険」

南アルプス市シルバー人材センター 小林 重行さん

【優秀賞】

「安全は 他人に任せず 自己管理」

東山梨地区広域シルバー人材センター 羽中田 典子さん

【佳作】

「1メートル 低い高さも 一命とる」

峡中広域シルバー人材センター 保坂 武さん

【佳作】

「『ただいま』 笑顔で戻れる 安全作業」

峡北広域シルバー人材センター 坂本 等さん

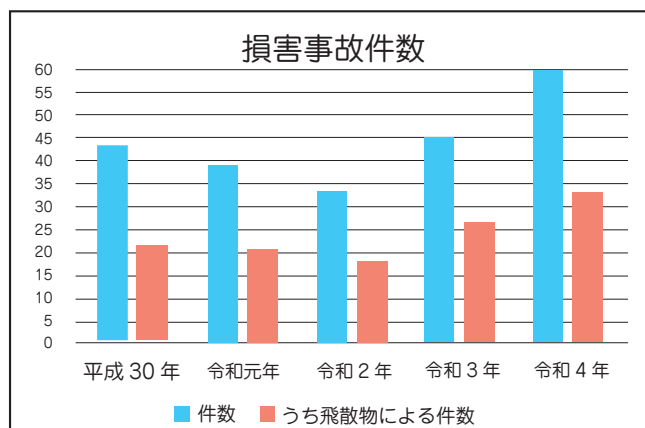
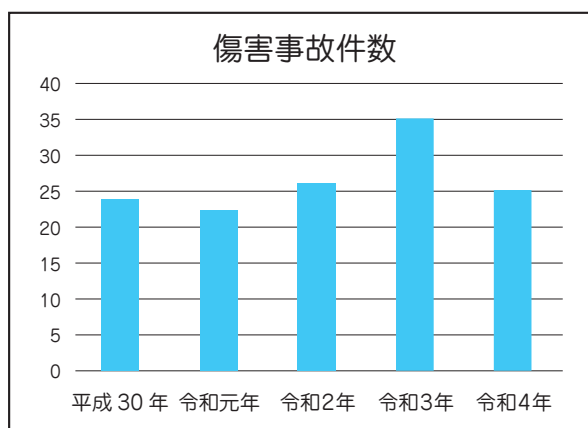
【佳作】

「始業点検 あれヨシ! コレヨシ! もう一度」

南アルプス市シルバー人材センター 加藤 正久さん

傷害・損害事故件数の推移

区 分		平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
傷害(転倒・転落等)	件数	24	22	26	35	25
損害(対人、対物)	件数	38	39	33	45	60
	うち飛散物による件数	19	21	18	27	33



安全・適正就業強化月間 安全パトロールを実施しました

シルバー人材センター事業は、高齢者が健康で安心して働くことを通じて生きがいを得るとともに、地域社会に貢献していくことを目的としています。

日頃から安全・適正就業に対する意識の高揚を維持していくことが重要であることから、毎年7月を「安全・適正就業強化月間」と定め、安全・適正就業対策の一層の推進を図っています。

その一環として、連合会では県内9センターの現場に出向いて安全パトロールを実施し、安全就業の点検を行いました。

安全・適正就業の主な取り組み

- (1) 安全・適正就業委員会の開催
- (2) のぼり旗の掲揚など安全意識の啓発
- (3) 安全パトロールの実施
- (4) 安全用具等の点検と正しい使い方の指導
- (5) 就業途上における交通事故防止
- (6) 安全・適正就業に係る研修会の開催
- (7) 適正就業ガイドラインに沿った業務運営の見直し
- (8) 熱中症対策と会員の健康管理の徹底



安全パトロールの様子

高齢者活躍人材確保育成事業

労働力人口の減少等により、人手不足が顕在化している分野や現役世代を支える介護分野等での担い手不足が課題となる中、当該分野での高齢者の就業を推進することは喫緊の課題となっています。

こうした中、シルバー事業やシルバー人材センターを広く知っていただくため、テレビやラジオのスポットコマーシャルや新聞広告、市町村広報・業界紙広告などを活用し、高齢者や企業等に対し積極的に周知・広報することとします。また、会員確保のための各種技能講習、就業体験の開催や、県内の労働団体、経済団体、国・県、シルバー連合が一体となった「やまなし高齢者活躍人材確保育成事業連絡会議」を開催するなど、地域におけるシルバーの更なる活用促進を目指すこととします。

【やまなし高齢者活躍人材確保育成事業連絡会議委員名簿】

団体・機関名	役職名	氏名
山梨労働局職業安定部職業対策課	課長	内田 良仁
山梨県産業労働部労政人材育成課	課長	小林 孝恵
日本労働組合総連合会山梨連合会	事務局長	田中 好久
山梨県経営者協会	専務理事	一之瀬 滋輝
山梨県商工会連合会	事務局次長	鈴木 卓也
山梨県商工会議所連合会	事務局長	花田 智
山梨県中小企業団体中央会経営支援課	課長	古屋 孝明
山梨県シルバー人材センター連合会	事務局長	上矢 敏彦



高齢者活躍人材確保育成事業 技能講習

高齢者の皆さんが、シルバー人材センターに興味を持ち自信をもって就業できるよう技能講習を行っています。当連合会が開催する技能講習を受講して、就業に必要な能力・技術を身につけて、シルバー人材センターの会員となり多くの方が就業しています。

令和5年度技能講習会

- 農業補助講習
- 介護補助入門講習
- 認知症介助士講習
- 調理補助講習
- 整理収納・清掃・接遇講習
- 植木剪定・刈払機安全講習
- 網戸張替え講習
- 介護施設運転講習



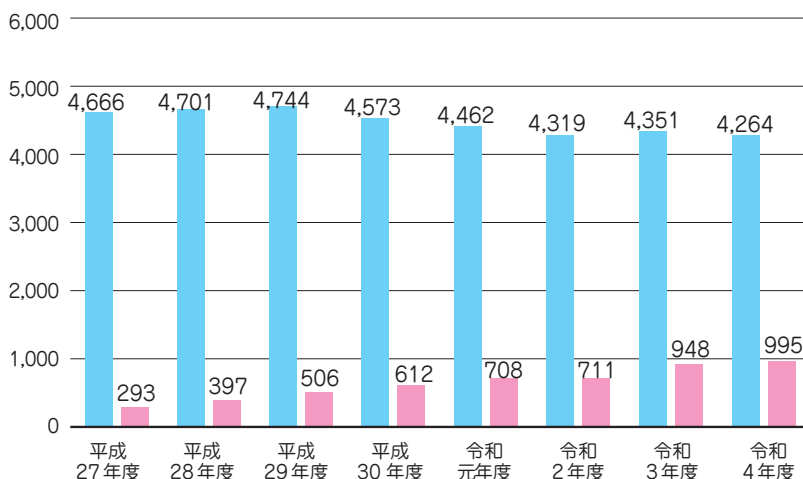
農業補助講習の様子

最近の

山梨県シルバー人材センター連合会事業実績

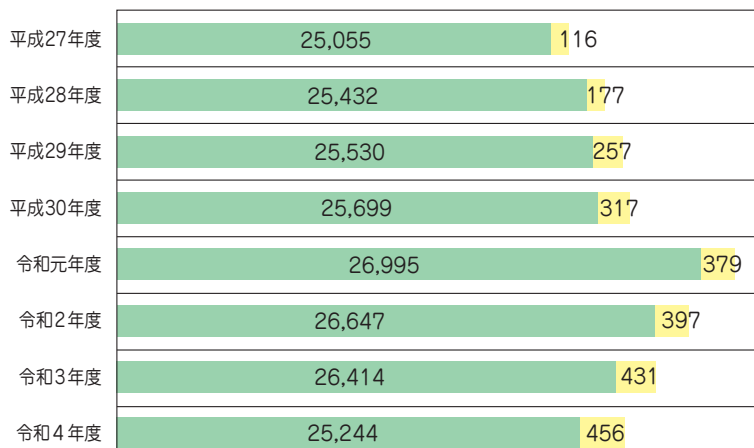
会員数の推移

区分	会員数	
	計	うち派遣
	人	人
平成27年度	4,666	293
平成28年度	4,701	397
平成29年度	4,744	506
平成30年度	4,573	612
令和元年度	4,462	708
令和2年度	4,319	711
令和3年度	4,351	948
令和4年度	4,264	995



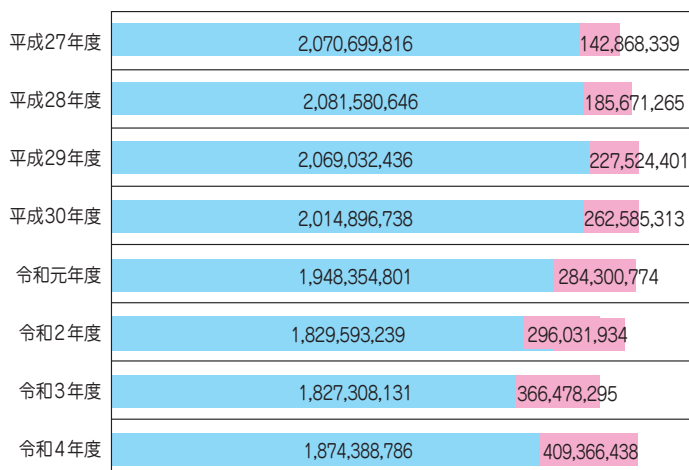
契約件数の推移

区分	契約件数		
	請負・委任	派遣	計
	件	件	件
平成27年度	25,055	116	25,171
平成28年度	25,432	177	25,609
平成29年度	25,530	257	25,787
平成30年度	25,699	317	26,016
令和元年度	26,995	379	27,374
令和2年度	26,647	397	27,044
令和3年度	26,414	431	26,845
令和4年度	25,244	456	25,700



契約金額の推移

区分	契約金額		
	請負・委任	派遣	計
	円	円	円
平成27年度	2,070,699,816	142,868,339	2,213,568,155
平成28年度	2,081,580,646	185,671,265	2,267,251,911
平成29年度	2,069,032,436	227,524,401	2,296,556,837
平成30年度	2,014,896,738	262,585,313	2,277,482,051
令和元年度	1,948,354,801	284,300,774	2,232,655,575
令和2年度	1,829,593,239	296,031,934	2,125,625,173
令和3年度	1,827,308,131	366,478,295	2,193,786,426
令和4年度	1,874,388,786	409,366,438	2,283,755,224



令和4年度

シルバー人材センター事業状況

令和4年度 シルバー人材センター実績表

(令和4年4月～令和5年3月)

シルバー人材センター名	月末会員数(人)									就業実人員		就業率		事業別就業延日人員(人日)			事業別契約件数(件)		
	男	入会 退会	女	入会 退会	計	入会 退会	うち派遣登録			請負 委任	派遣	請負 委任	派遣	請負 委任	派遣	合計	請負 委任	派遣	合計
							男	女	計										
(公社)甲府市シルバー人材センター	365 ▲18	47 65	172 ▲20	23 43	537 ▲38	70 108	113	24	137	431	79	80.3%	57.7%	44,514	4,943	49,457	5,518	32	5,550
(公社)東部広域シルバー人材センター	232 ▲24	31 55	60 ▲4	13 17	292 ▲28	44 72	16	2	18	256	21	87.7%	116.7%	23,855	3,017	26,872	2,086	5	2,091
(公社)東山梨地区広域シルバー人材センター	244 ▲10	32 42	150 ▲6	25 31	394 ▲16	57 73	35	21	56	352	62	89.3%	110.7%	30,617	4,840	35,457	1,740	45	1,785
(公社)富士五湖広域シルバー人材センター	345 ▲7	44 51	137 ▲4	29 33	482 ▲11	73 84	47	12	59	434	47	90.0%	79.7%	43,796	4,668	48,464	2,107	19	2,126
(公社)峡北広域シルバー人材センター	319 ▲5	38 43	117 6	18 12	436 1	56 55	65	29	94	353	63	81.0%	67.0%	34,281	5,572	39,853	3,268	36	3,304
(公社)峡南広域シルバー人材センター	255 ▲7	26 33	128 ▲2	20 22	383 ▲9	46 55	56	9	65	296	84	77.3%	129.2%	23,034	7,952	30,986	2,216	77	2,293
(公社)峡中広域シルバー人材センター	495 2	69 67	244 10	36 26	739 12	105 93	217	83	300	546	220	73.9%	73.3%	62,388	20,777	83,165	2,839	152	2,991
(公社)南アルプス市シルバー人材センター	301 2	38 36	180 0	28 28	481 2	66 64	62	47	109	355	93	73.8%	85.3%	34,521	5,360	39,881	2,619	39	2,658
(公社)笛吹市シルバー人材センター	342 4	43 39	178 ▲4	23 27	520 0	66 66	117	40	157	374	125	71.9%	79.6%	36,045	10,116	46,161	2,851	51	2,902
合計	2,898 ▲63	368 431	1,366 ▲24	215 239	4,264 ▲87	583 670	728	267	995	3,397	794	79.7%	79.8%	333,051	67,245	400,296	25,244	456	25,700

シルバー人材センター名	契約金額(円)											
	請負・委任契約金額			派遣事業契約金額			事業別契約金額			金額割合		
	公共	民間	計	公共	民間	計	公共	民間	計	公共	民間	
(公社)甲府市シルバー人材センター	52,545,218	159,168,757	211,713,975	9,024,265	22,074,988	31,099,253	61,569,483	181,243,745	242,813,228	25.4%	74.6%	
(公社)東部広域シルバー人材センター	59,725,850	90,039,442	149,765,292	7,143,398	14,760,177	21,903,575	66,869,248	104,799,619	171,668,867	39.0%	61.0%	
(公社)東山梨地区広域シルバー人材センター	67,301,506	84,255,622	151,557,128	23,822,364	9,379,318	33,201,682	91,123,870	93,634,940	184,758,810	49.3%	50.7%	
(公社)富士五湖広域シルバー人材センター	140,435,145	184,452,468	324,887,613	11,481,530	13,684,099	25,165,629	151,916,675	198,136,567	350,053,242	43.4%	56.6%	
(公社)峡北広域シルバー人材センター	65,703,550	142,444,433	208,147,983	17,050,049	19,940,952	36,991,001	82,753,599	162,385,385	245,138,984	33.8%	66.2%	
(公社)峡南広域シルバー人材センター	71,781,270	77,377,287	149,158,557	27,916,643	16,287,034	44,203,677	99,697,913	93,664,321	193,362,234	51.6%	48.4%	
(公社)峡中広域シルバー人材センター	180,748,596	140,947,539	321,696,135	89,060,297	33,008,657	122,068,954	269,808,893	173,956,196	443,765,089	60.8%	39.2%	
(公社)南アルプス市シルバー人材センター	46,167,057	122,463,579	168,630,636	15,116,613	12,215,774	27,332,387	61,283,670	134,679,353	195,963,023	31.3%	68.7%	
(公社)笛吹市シルバー人材センター	72,658,757	116,172,710	188,831,467	42,059,229	25,341,051	67,400,280	114,717,986	141,513,761	256,231,747	44.8%	55.2%	
合計	757,066,949	1,117,321,837	1,874,388,786	242,674,388	166,692,050	409,366,438	999,741,337	1,284,013,887	2,283,755,224	43.8%	56.2%	

* * * お知らせ * * *

【全シ協会長表彰】

去る6月22日に、公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会（全シ協）の令和5年度定時総会が開催され、峡中広域シルバー人材センターが優良センターとして、山梨県シルバー人材センター連合会が特に顕著な功績があった都道府県連合として表彰されました。

【全シ協役員（監事）就任】

去る6月22日に、公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会（全シ協）の令和5年度定時総会が開催され、役員改選において山梨県シルバー人材センター連合会の鈴木幹夫会長が全シ協の第21期に引き続き第22期役員（監事）に選任されました。

編

集

後

記

昔、「人生わずか五十年」と言われた戦前の頃には、50歳の声を聞くころには、職業上の人生もほぼ終わり、そのころには、男性も女性もほぼ同じ長さで、「人生わずか五十年」という言葉は戦前には不思議ではなかったのですが、現在では、寿命が延びて「人生百年時代」と言われる、人類史上最長の時代を迎え、今まで経験したことのない世界を生きることになっています（生きている高齢者は大変なんです）。その高齢化社会を生きる我々は、その未開の時代を生きるものとして、これから続く世代が、安心して高齢時代を生きられるよう、明るく、楽しく生きて、後輩のために「道しるべ」とならなければなりません（そんな義務はありませんが）。しかしながら、戦前の倍の長さを生きたおかげで、見ることのなかった世界を見ることもできるし、美味しいものも食べられる。プラスもマイナスもありますが、心おだやかに楽しく生きていければ得た感じですよ。誰かが言っていましたが、「生きてるだけで丸儲け」。この社会の中で、泣いたり笑ったりしながら自分の人生を生きられればいいなと思います。何歳まで生きても自由なんですから、とことん楽しんで行きましょう。シルバー人材センターに集まる皆さんと、社会貢献し、収入も得て、自分の力で頑張りましょう。

さて、当連合会の職員に異動がありましたので、報告いたします。皆様に期待されるシルバー事業の推進にこれからも職員一丸となって取り組んで参りますので、変わらぬご指導とご協力をよろしくお願い申し上げます。

* * 事務局職員の異動 * *

【異動】 事務局長 上矢 敏彦（令和5年4月1日）

【採用】 事務局次長 宮澤 祐仁（令和5年4月1日）

【退職】 事務局長 河野 修（令和5年3月31日）

シルバー
やまなし

第42号

●編集発行
（公社）山梨県シルバー人材センター連合会
甲府市飯田3-3-28 スカイハイツ1F
TEL055-228-8383

●令和5年9月発行
●印刷所 アイプランニング